

目次

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報（1月23日～1月29日掲載分）
 - ・報道発表
 - ・お知らせ
 - ・各種情報
- 2 現場レポート
 - ・次世代エコカーのエースはFCV？ ～福岡モーターショー2014～
 - ・夜の中洲の国体道路からタクシーが消える？
 - ・水仙の花咲く頃～ 野母崎に行ってきました！
- 3 お知らせ
- 4 国土交通省 総合交通メールマガジンからのお知らせ
- 5 九州運輸局の動き
- 6 イベント情報

1 九州運輸局ホームページアップ情報 （1月23日～1月29日掲載分）

----- 報道発表 -----

福岡エムケイ株式会社に係るタクシーの乗務距離の最高限度をめぐる訴訟判決の対応について

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-0129-ryokaku02.pdf>

----- お知らせ -----

準特定地域協議会の開催及び委員募集について（日程追加）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2014-0124-ryokaku02.htm

----- 各種情報 -----

《入札・契約情報》

5. 企画競争実施公示（1月28日公示分まで）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

《九州統計情報》

造船関係（管内船用工業の現況 平成24年度版掲載）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/zousen/zousen24.pdf>

自動車登録・整備関連（自動車保有車両数 25年12月分追加）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/syaryousuu25-12.pdf

自動車登録・整備関連（新規登録自動車数 25年12月分追加）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/shinkitouroku2512.pdf

自動車登録・整備関連（燃料別自動車保有台数 25年12月分追加）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/nenryoubetsu2512.pdf

2 現場レポート

次世代エコカーのエースはFCV? ~福岡モーターショー2014~

1月24日~27日の4日間、最先端技術を搭載した国内外のコンセプトカーや最新の市販車などを展示した「福岡モーターショー2014」が、福岡市博多区のマリンメッセ福岡など3会場で開催されました。

福岡モーターショーは、東京モーターショーと同様2年に1度開催され、今回で4回目となります。

九州の産官学で作る実行委員会に当局が参画していることもあり、開幕式には佐藤九州運輸局長も出席し、次世代エコカーの中心とされる燃料電池自動車(FCV)などを視察しました。

展示の目玉は何と言っても次世代エコカーのエース(?)として期待されるFCV。高いデザイン性と燃費性能で注目を集めるTOYOTAの「TOYOTA FCV CONCEPT」をはじめ、NISSAN、HONDAが展示し、多くの来場者が関心を寄せました。

一方、モータースポーツファンの注目を集めたのは「SUBARU BRZ GT 300」。国内最高峰の自動車レース「SUPER GT(GT300クラス)」に参戦2年目で初優勝を飾ったスポーツカーは、迫力満点。

25日には、福岡国際会議場で「自動車フォーラム」が開かれ、トヨタ自動車の豊田社長は「もっとクルマを語ろう。I Love Cars!」と題した講演で、大学生など未来の技術者の卵にクルマの魅力を訴えました。

ショーは4日間で過去最高の14万7千人の来場者を集め、大盛況のうちに閉幕しました。

福岡モーターショーの様子は、下記URLからご覧頂けます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_248_1.pdf

【総務部総務課】

夜の中洲の国体道路からタクシーが消える?

西日本随一の歓楽街、中洲を貫くメイン道路の「国体道路」は、夜になると客待ちのタクシーで埋まってしまいます。特にバスや地下鉄がなくなった後の時間帯はひどく、救急車などの緊急車両が通行できないなどの社会問題となっています。

福岡運輸支局では、長年続くこのような状態を何とか解消しようと、平成24年1月から関係機関(福岡市タクシー協会、国道工事事務所、福岡県警、福岡市)に声かけし、「夜間における中洲地区の違法駐停車対策会議」を発足させました。

会議はこれまで16回を数え、タクシー協会による巡回指導の強化や違反会社にはペナルティーを課すなどの協会の自主的な取組について、問題提起や提案を行ってきたところです。

こうした状況を踏まえ、今回タクシー協会は、実証実験として「夜間における中洲地区（主に国体道路）交通の安全円滑化対策」を実施し、問題の解決に取り組むことになりました。

実証実験は、2月1日～10日の各23時～翌1時まで、中洲地区の国体道路を実車のみ通行可とし、空車のタクシーは進入禁止とすることにより、違法駐車車をなくして安全円滑な交通を取り戻すお客様に中洲のタクシーのりばを知っていただき、使っていただく、という二つの目的をもちています。

同協会は、この実験結果を検証して、第二・第三の対策につなげたいとしており、これを機に中洲のイメージが変わることを期待しています。

ところで皆さんはご存じですか？

国体道路の春吉橋～祇園町西（グルメシティ前の信号）間は、旅客の降車を除き駐車禁止で、その区間でタクシーに乗ることは出来ないこと、そして、中洲地区には126台分のタクシーのりばがあることを。

利用する私たちもルールを知り、そしてしっかり守ることが大切だと思います。

【福岡運輸支局】

水仙の花咲く頃～ 野母崎に行ってきました！

メールマガジン第245号で紹介された「第22回のもぎき水仙まつり」に、長崎の地で初めて勤務している4人で訪れてみました。

「水仙の里」は、長崎市街から西方に車で約30分走ったところにあります。訪れた1月12日は、曇り空で風が強く、絶好のドライブ日和とはいきませんが、メイン会場付近まで来ると、微かに「水仙の香り」が漂ってきました。

当日は水仙祭り2日目で、メインイベントが多く開催される3連休の中日ということもあり、色々な地域から多くの観光客が訪れていました。

水仙は満開とまではいかないまでも、小高い丘一面に花が咲き乱れており、かなり見応えのある情景で、感動を呼び起こすには十分なものでした。また、丘からの海の眺めは格別で、潮風と軍艦島を望む景観は、当地でしか味わえないものだと感じました。

メインイベントの日ということもあり、水仙の花の無料配付や地元つみれ汁の販売、かき小屋の開設、地元名産品の販売等が行われていたので、早速つみれ汁をいただきました。つみれ汁には、地元で採れた魚や野菜がふんだんに使われており、人気が高く、購入までに30分程度待ちましたが、冷たい風に冷え切った体が、食べた途端にホクホク状態に。待ったかいがありました。

また、昨年末九州運輸局に水仙の花を届けて頂いた「ロマン長崎」の平田さんから、爽やかな笑顔とともに、水仙の花を頂戴しました。ちなみに頂いた水仙の花は、当支局本庁舎及び東長崎庁舎の事務室カウンター上に置かれ、職員や事務所

を訪れる方を楽しませてくれました。

まつりは2月2日まで開催しています。

水仙の花も皆様をお待ちしていますので、一度訪れてみては如何でしょうか？

当日の様子は下記の URL からご覧なれます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_248_2.pdf

【長崎 おもてなし がんばらんば隊】

3 お知らせ

中小造船業・船用工業経営技術講習会開催

九州運輸局では、中小造船業・船用工業事業者の経営技術の向上に資するため、平成26年2月10日、関係業者を対象とした「中小造船業・船用工業経営技術講習会」を開催します。

講習会では、講師に九州大学総合理工学研究院 高崎教授を迎え「天然ガス燃料船の普及について」というテーマに基づき、主機ガスエンジンの開発状況や国土交通省・天然ガス燃料船の普及に向けた総合対策検討委員会の報告などについて講演をしていただきます。

お問い合わせは、海事振興部船舶産業課（092-472-3158）まで。

【海事振興部船舶産業課】

第3回地域バス交通活性化セミナー

～地域活性化及び低炭素社会に資する地域公共交通の実現に向けて～
を開催します！

九州運輸局、おおいた低炭素地域づくりコンソーシアム及び（公財）交通エコロジー・モビリティ財団は、バス交通による地域活性化と低炭素化実現への道筋を探るため、2月18日に大分市で「第3回地域バス交通活性化セミナー」を開催します。

大分駅周辺部は、大分駅高架化以降大規模開発が行われることとなっており、駅前の活性化が期待されていることから、今回は大分市で開催することとしました。

セミナーでは、バス交通の有識者による講演やバス事業者からの取り組み事例紹介のほか、有識者や事業者、自治体等を交えたパネルディスカッションにより、公共交通の利用促進による低炭素化と地域活性化の両立を実現する方策を検討します。

どなたでも参加できますので、多数のご参加をお待ちしております。

お申し込みは、下記URLより所定の申込用紙をダウンロードして事務局までフ

アクセスして下さい。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/2014-0121-kankyo.htm>

【交通環境部環境課】

4 国土交通省 総合交通メールマガジンからのお知らせ

国土交通省総合政策局総務課 総合交通体系グループから発信された、交通基盤整備や地域交通に関する最新の取り組みを幅広く紹介するメールマガジンを下記URLからご覧になれます。(国土交通省HP)

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/65.pdf>

<コンテンツ>

山梨県甲州市におけるオンデマンドバスシステムの取り組み(甲州市 市民課)
有償ボランティアタクシー「がんばらマイカー」の取り組み(公益社団法人
豊根村シルバー人材センター)

「ICTを活用した歩行者の移動支援に関する勉強会」(第11回)について
(国土交通省 政策統括官付)

『地域モビリティ確保の知恵袋2013 ~災害時のモビリティ確保に向けた
取り組みのススメ~』 ~ いつでもご質問に対応致します。 ~

(国土交通省 総合政策局 総務課)

総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい!

地域の取り組み 及び イベント案内 募集!!

~受付窓口の変更がありましたらご連絡ください~

5 九州運輸局の動き

海技士国家試験(2月定期試験)

日時:2月3日(月)~21日(金)

場所:九州運輸局 7階海技試験場

概要:船長や機関長など、「船舶職員」として船に乗り組むために必要な資格に
関する国家試験(筆記試験)を実施します。

担当:海上安全環境部海技資格課

観光圏内限定旅行業務取扱管理者の職務に関する研修

日時:2月5日(水)

場所:長崎県佐世保市 市役所11階職員研修室

概要:観光庁長官の認定を受けた滞在促進地区内の宿泊業者(ホテル・旅館等)
が、観光圏内における宿泊者の旅行について、旅行業者代理業を営むための研
修を、「海風の国」佐世保・小値賀観光圏の宿泊業者に対して実施します。

担当:企画観光部観光地域振興課

6 イベント情報

2014長崎ランタンフェスティバル

日時：1月31日（金）～2月14日（金）

場所：長崎県長崎市 長崎新地中華街ほか

概要：長崎新地中華街の人たちが、街の振興のために、中国の旧正月（春節）を祝うための行事として始めたもので、長崎の冬を彩る一大風物詩。期間中は、長崎新地中華街をはじめ市内中心部各地に、約1万5千個にも及ぶランタン（中国提灯）が飾られ、湊公園などには、大型オブジェが所狭しと飾られます。

詳細は次のリンクからどうぞ（長崎ランタンフェスティバル実行委員会HP）

<http://www.nagasaki-lantern.com/index.html>

川辺二日市

日時：2月1日（土）～2月2日（日）

場所：鹿児島県南九州市 川辺町商店街

概要：商店街の両側に約400もの露店が立ち並び、特設会場ではフリーマーケットや骨董市などが開かれ、大道芸も楽しめます。

ふぐと灯りとひなまつり

日時：2月1日（土）～3月9日（日）

場所：福岡県北九州市 門司港レトロ地区

概要：全長約2mの「巨大ふぐランタン」のほか、愛嬌たっぷりの「ふぐ提灯」があちらこちらに点灯し、柔らかな和の灯りが街を温かく包み込みます。また街中に明治期からのひな飾りもお目見えし、「ふぐ鍋」や「ふぐひれ酒」なども振る舞われます。

修正鬼会

日時：2月6日（木）

場所：大分県豊後高田市 天念寺講堂

概要：五穀豊穡と無病息災を祈願する伝統行事で、鬼に姿を変えた先祖を出迎える、珍しい行事です。赤鬼と黒鬼による豪快な演舞が始まると、場内は熱気でいっぱいになります。

//////// 編集部より //////////////////////////////////////
かなり昔に読んだ雑誌に載っていた、うる覚えのジョーク。

『ある富豪が、ヨットで世界一周の旅に出て、南の島に立ち寄りしました。
島の人たちは、仕事もせずに昼間からゴロゴロしています。』

富豪「何故働かないのか？」

住民「働いたら何か良いことがあるのか？」

富豪「私のように金持ちになって、遊んで暮らせるようになるぞ。」

住民「私たちは、今でも遊んでいる。』

どう思いますか？

地球温暖化の影響で、南の島々が水没する危険性が高まっているそうです。
今できることを、今、皆んなでしなければ！

とりあえず私は、運動を控えることでCO2排出の抑制に努めます。メタボと引

き替えですが、地球のため、頑張ります。

出典は「リーダーズ・ダイジェスト」だったと思います。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html

本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: mm-kyushu@gst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192